

事務事業 No./名称	□サービス部門 監査-01 ■支援部門 監査事務								
主管課	監査委員事務局	関連課 各部各課							
分野名	市民自治								
目標 (目標値)	市民福祉の増進に向け、最小の経費で最大の効果を挙げるとともに行政組織及びその運営の合理化を図ることを留意事項として、監査、審査、検査等の高度化を推進する。								
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考				
	人口	177,204人	177,161人	176,669人					
運営資源状況	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	事業の対象者数								
	決算値(千円)	3,674	3,723	3,711					
	(国・県)								
	(負担金等)								
	(一般財源)	3,674	3,723	3,711					
	人員配置数	5人	5人	5人					
人件費(千円)	42,003	42,013	43,267						
事務事業運営経費	協働のパートナー								
	総事業費(千円)	45,677	45,736	46,978					
	市民1人当りの経費(円)	258	258	266					
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒	平塚市	鎌倉市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市			
	人口(人)	259,682	177,204	415,251	196,926	235,903			
	監査委員定数	4人	2人	4人	3人	3人			
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)		
定期監査及び財政援助団体等監査	○	目標値	15	13	15	12	14		
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	14	13	17				

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
監査事務	3,674千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E		
	事業の概要	行政の適法性、効率性、妥当性の保障を期するため、監査委員の監査等の事前調査等の事務を行い、公正で合理的かつ能率的な行政運営が行われるようにする。			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	事務局職員の専門性の向上
課題解決のための取組	各種研修への積極的参加
未解決の課題	

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
			市民の市財政運営への関心が高まる中、業務執行の適正性を確保するため、業務改善に向けた監査を行っている。	↓ A	課長等名 課長(代理) 三ツ堀 弘

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	タイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果	
監査事務	211	監査委員報酬 2人	2,552	2,551	■適切	□見直し余地あり
	211	追録等消耗品費	891	833	■適切	□見直し余地あり
	211	工事監査技術調査業務委託料	118	110	■適切	□見直し余地あり
	211	全国都市監査委員会等負担金	125	120	■適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり